

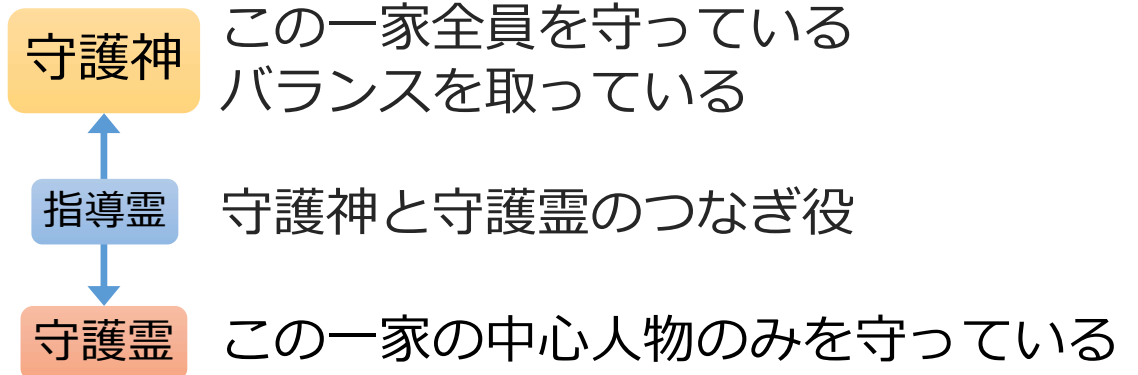
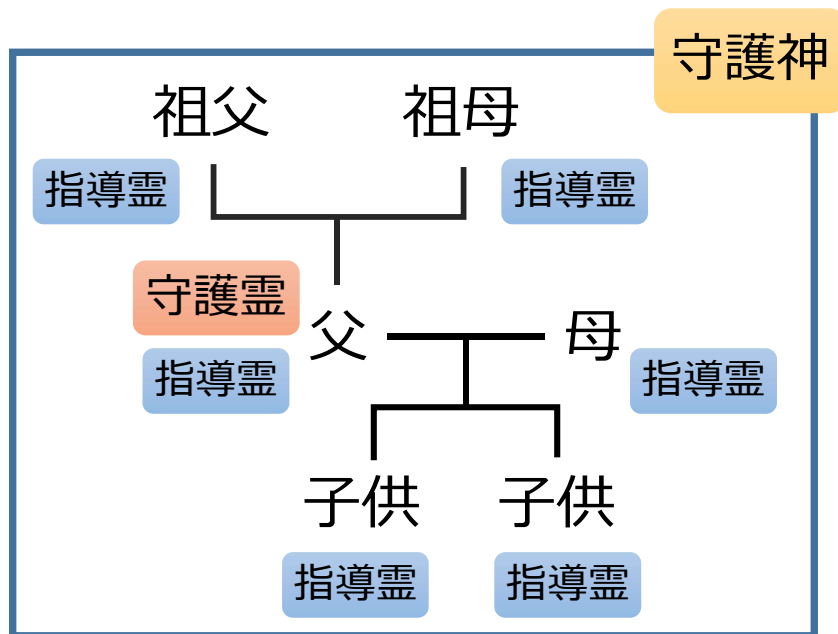


陰陽五行論塾Contents

守護神・守護霊・指導霊

守護神と守護霊と指導霊

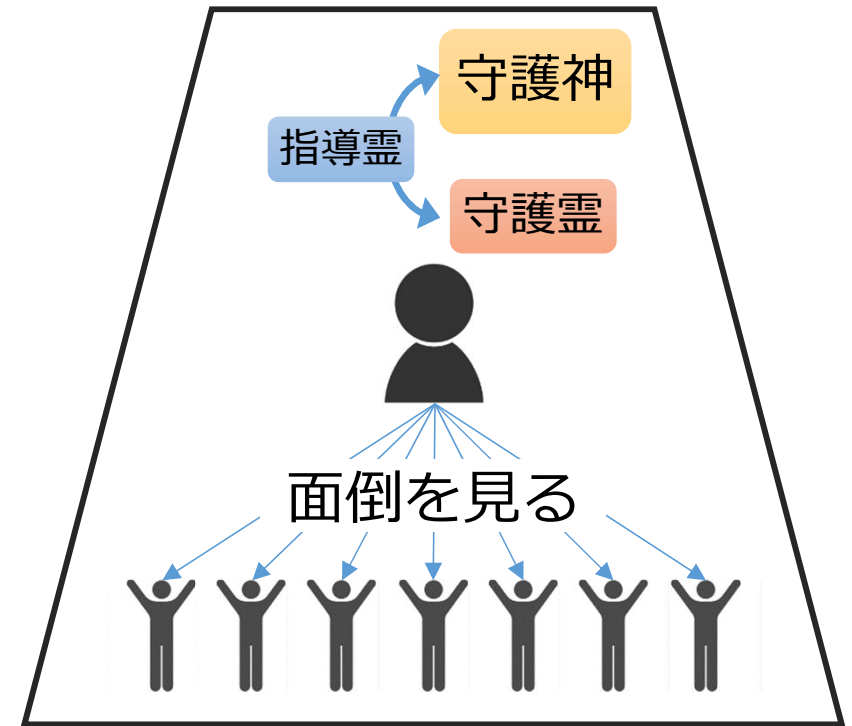
| | | |
|-----|-----|-----------------------------------|
| 天の気 | 守護神 | バランスの神(個々人を守る神ではない) |
| 地の気 | 守護霊 | 化身(人の形に変わって、中心人物にのみ付く) |
| 人の気 | 指導霊 | 守護神と守護霊の調整・つなぎ役 (指導霊は全員に付いている) |



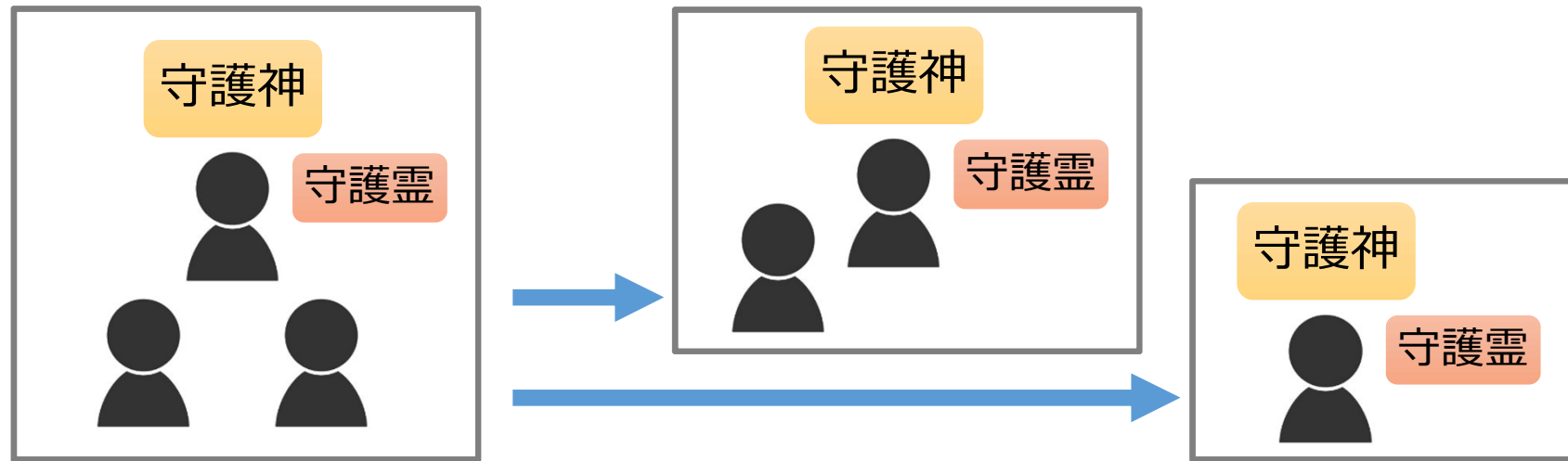
人間は一人で生きている訳ではないので
存在している組織の中のエネルギー調和
が大切となる。

運格

- 中心人物(社長・家長)が天中殺であっても、他の者が身代わりになってくれる。
- 他者に対して普段から物心共に面倒を見ていると傘下の者が身代わりになる。
 - 出来るだけ多くの者の面倒を見ると、身代わりになる者の一人あたりの負担が少なくて済む。
- 他者に尽くし、愛情を注ぐ事は、運格の上がる行為となる(格上げ)。沢山の者の面倒を見るから運格が上がるのである。



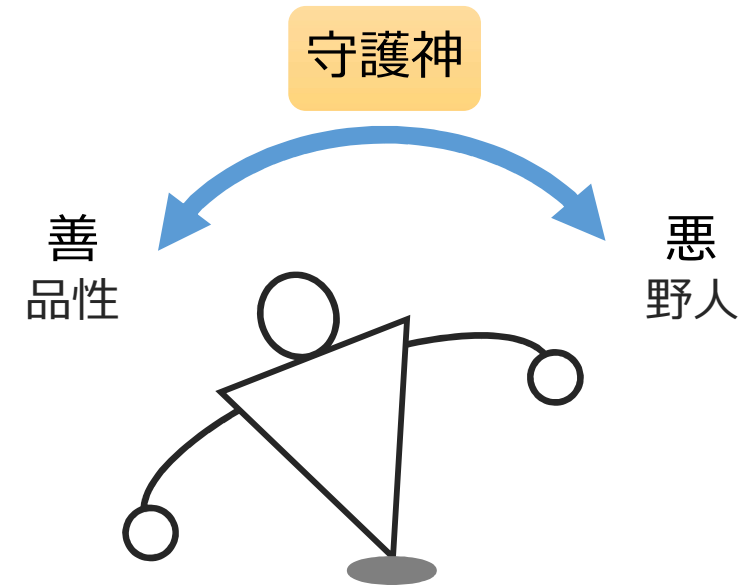
守護神を味方に付ける方法



1. 一つの組織に一体の守護神が付く。
2. その組織を二つに分けるとそれぞれの組織に一体ずつの守護神が付く。
3. 家族全体で暮らすと守護霊は家長に付くので一人暮らしをした場合は、守護霊と守護神がそれぞれ付いてくれる。

守護神を味方に付ける方法

1. 一人暮らしの時に、片方に徹底的に片寄せると守護神がバランスを取りその反対に引っ張られる。その振幅が大きいほど人としての経験値や器が大きくなり、運格が上がる。



2. 運の幅が広い人ほど天才・奇人となる。運の幅が狭い人ほど、まともな人(凡人)となる。

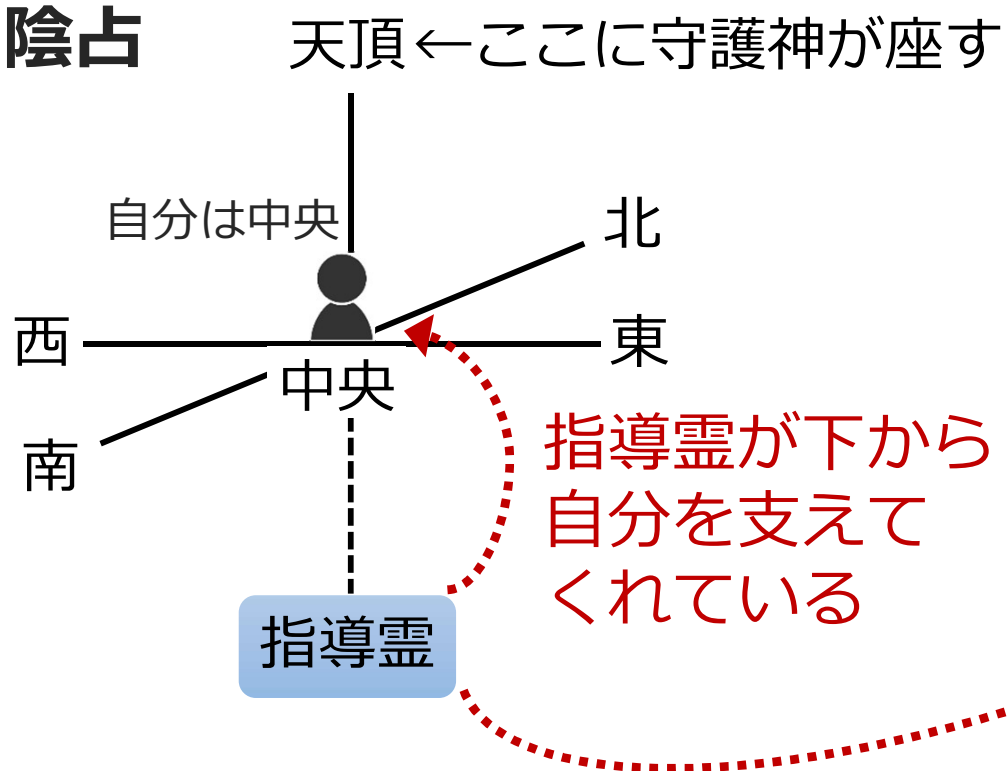
3. 一人暮らしが出来ない人の改良は、定期的にホテルに宿泊して一人の空間を意図的に体験すると良い。

守護神を味方に付ける方法

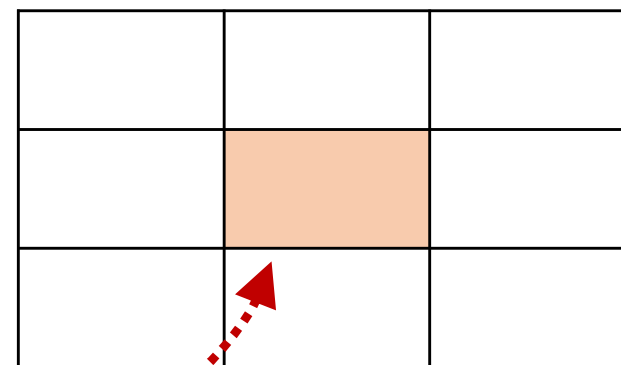
- 守護神を味方に付け、守護霊に守ってもらい指導霊に導かれる
- その上で多くの人の面倒を見る事で運格を上げていく。結果的に人生がより豊かな方向に導かれていく。
- 天才の人(男)ほど、悪妻を得るとバランスが取れる。なぜならば、天才(奇才)には天才(奇才)、凡人には凡人が夫婦として合うため。

守護神(指導霊)の探し方(立体五行で考察する)

陰占



陽占



陽占の中央(主星)が指導霊の化身となる

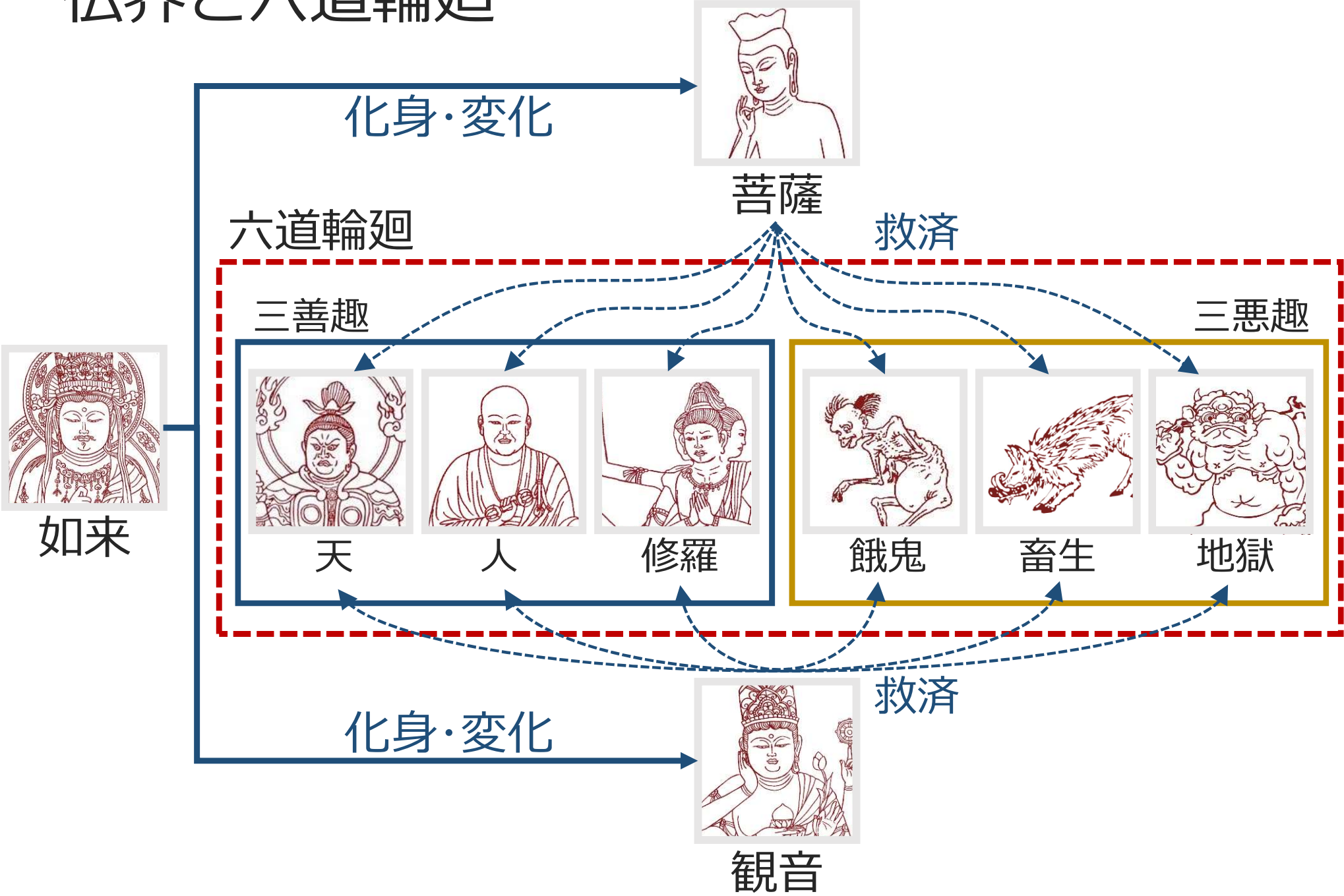
主星と五行の質

| 木 | | 火 | | 土 | | 金 | | 水 | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 貫索星 | 石門星 | 鳳閣星 | 調舒星 | 禄存星 | 司禄星 | 車騎星 | 牽牛星 | 龍高星 | 玉堂星 |
| ? | | ? | | ? | | ? | | ? | |

五行と守護神

| 如来部 | 菩薩部 | 観音部 | 明王部 | 天部 |
|--|--|---|--|---|
| 土性：中央 | 水性：北方 | 木性：東方 | 金性：西方 | 火性：南方 |
| 大日如来 釈迦如来 薬師如来 阿弥陀如来 阿閼如来 宝生如来 | 弥勒菩薩 ※如来から唯一 菩薩になった存在 文殊菩薩 普賢菩薩 地藏菩薩 虚空蔵菩薩 龍樹菩薩 妙見菩薩 | 如意輪観音 観音菩薩 ※観世音菩薩または 観自在菩薩の略 千手観音 十一面観音 馬頭観音 三十三観音 | 五大明王(五大尊) 不動明王 降三世明王 軍荼利明王 大威徳明王 金剛夜叉明王 愛染明王 孔雀明王 烏枢沙摩明王 | 四天王 多聞天(北方) 持国天(東方) 増長天(南方) 広目天(西方) 梵天・帝釈天 弁才天・大黒天 吉祥天・韋駄天 摩利支天・技芸天 |
|  |  |  |  |  |
| 大日如来 | 弥勒菩薩 | 如意輪観音 | 不動明王 | 毘沙門天(多聞天) |

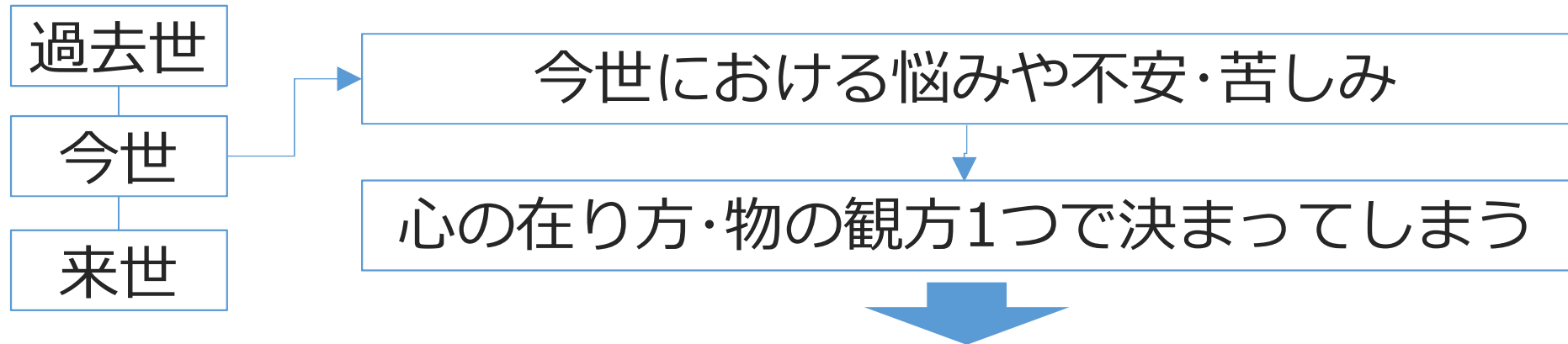
仏界と六道輪廻



生き方(心の在り方)

(宿命 + 環境) × **生き方** = 運命

生き方(心の在り方)



悩みや不安や苦しみは、まだ見ぬ未来や過去の体験に意識を囚われている時に感じるものである。今、この瞬間に意識を持っていないと、煩悩にさいなまれる。人生で体験するすべては、良くも悪くもなく、ただただ味わえばいいものである。

自分の思い通りにしようとするので苦悩が生まれる。時の流れに身を委ねる事。自分の思い込んだ正しさを手放すこと。エゴの声に耳を傾ける事。沸き起こる否定的な感情は、エゴを満たしたいという欲求が満たされない時に体験する。うまくいかない体験をしている時は、自分のエゴを手放しなさいという、守護霊からのメッセージである。

うまくいかない時にこそ、人は成長している。課題や不安や恐れを避けない事。しっかりと向かい合う事で、浄化され完了し、二度と同じレッスンはやって来ないのである。心の在り方と云う原因が、現実の体験・成果と云う結果を創り出す、因果の法則から私たちは逃れる事が出来ないのである。大いなる存在に謙虚に畏敬の念を持ち、存在していることに感謝できる心境を得る事で、安寧を体験できるのである。